

本丸中野志咲

思い浮かべてくださったさい。七十二年前のあの

日のことを。あの一瞬で、快晴の空、広島

のぎやがな町。そして、人々の笑顔が消え去

った出来事を理解できますか？この惨劇を乗

りこえてもなお、僕たちに、平和に対する思

いを伝えてくれて、いる姿に感動しました。

広島平和記念資料館では、数多くの資料を

見学することかできました。溶けたガラス小

瓶のかたまりや、焼け焦げた三輪車などが展

示されており、これほどの熱を身に受けたと

考えるとして、とても悲惨で、心が痛みます。

平和記念式典には、国内外から、多くの方

が参加されました。その方々の平和への思い

が伝わってくるような気がしました。たくさ

んの話を聞き、これから絶対に、戦争をくりか

えしてはならないと思いました。

被爆体験記朗読会にも参加し、当時の人々

がどのような状態での、どのようなことを思

っていたのかが分かりました。その人たちが、

苦しかったこと、つらかったことや、その人

本丸中野志咲

を助けた。医師が家族の体験を聞き、悲しい  
気持ちになりました。この会の最後には僕た  
ちも朗読をしました。自分の声にすること  
聞くだけでは分がらなかつた。思いも知るこ  
ができませんでした。

後世に伝えていかなければならないことを  
今回、数多く学びました。この学んだことを  
一人でも多くの人に伝え、そこから、本当に  
平和になつてほしいと願つていきます。そして  
その平和を未来へつなげていきたいです。